

令和7年度  
マイスター・ハイスクール事業及び  
マイスター・ハイスクール普及促進事業  
成果発表会

# 北海道教育委員会 「北の専門高校 ONE-TEAMプロジェクト」

- 年月日：令和8年1月30日（金）
- 会場：ビジョンセンター田町



# 説明事項



## 「北の専門高校 ONE-TEAMプロジェクト」の概要



## 今年度の主な取組



## 次年度以降の方向性

# 01 「北の専門高校 ONE-TEAMプロジェクト」の概要



# 本プロジェクトの概要図

## 北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト

次世代半導体製造拠点の立地や洋上風力発電の導入など、産業構造が大きく変化している中、地域創生を担う産業人材を育成している専門高校と産業界をつなぎ、産学連携を強化するとともに、専門高校の価値や魅力を広く発信し、魅力ある北海道を創る人材育成を推進する。



### 専門高校と産業界の連携における課題

- ①連携した取組が少ない
- ②連携の進め方や配慮点が不明
- ③ニーズ等が異なり、連携が進みづらい
- ④教員が多忙なため企業等と調整不足

横と縦の糸で専門高校のつながりを支援

### 横のつながり

専門高校が**学科の垣根を越えて連携**し、効果的な職業人材育成システムを、他の専門高校に**自走可能な形で横展開**

### 縦のつながり

専門高校と**企業や中学校との縦の連携**を促進するとともに、地域創生を担う産業人材を育成している**専門高校の価値や魅力**を広く発信

### ONE-TEAMコミットィの発足

有識者で構成し、本プロジェクトの推進に向けて、専門高校の視察や産学連携に関する協議を行い、専門的見地から指導・助言



※委員会

### 本プロジェクトのゴールイメージ



専門高校と産業界が**サステナブル※**につながる

※持続可能な、ずっと続いていける

### KPI

- ① 産業界との連携・協働体制を組織的に構築できている専門高校の割合（道立の専門高校56校）  
【R5: 7% (実績値) ▶ R6:14% ▶ R7:50%】
- ② 産業界の有識者を招いた協議等の機会を設けて、地域の人的・物的資源を活用しながら教育活動を行っている専門高校の割合（道立の専門高校のうち、農工商水54校）  
【R5:54% (実績値) ▶ R6:61% ▶ R7:91%】

### 産学連携コーディネーターの役割

#### 北の専門高校プラットフォームを創設

#### ◆人のつながりを生む機会を創出

産学連携シンポジウムなど、産学連携に資する機会を創出し、専門高校と産業界等を、学科の特性に応じて**人的につなげる**



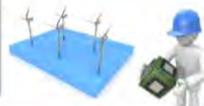
#### ◆産業実務家教員リスト2.0の作成

謝金等が不要で出前授業等が可能な**職業人をデータベース化したリスト**(R6作成)をアップデートし、産学連携を促進

【データベース】  
○ ○ ○ ○  
△ △ △ △  
▲ ▲ ▲ ▲

#### ◆新たな産業や専門高校への理解促進

DXを活用して働く専門高校の卒業生や、産学連携、学科の垣根を越えた連携などの事例を紹介する**おしごとガイドブック2025**を制作し、中高生や経済団体に配付



### 管理機関の役割

- ◆ONE-TEAMコミットィを設置し、広域分散型の本道における産学連携の推進に向けて、拠点校と協力しながらプロジェクトを展開
- ◆産学連携コーディネーターを配置し、専門高校の産学連携を支援
- ◆専門高校を拠点とした**地域創生**や**地域人材の育成**に資する取組を推進
- ◆**専門高校の価値や魅力**を産業界や中学校に普及・啓発



### 横展開のイメージと拠点校の役割



#### 【横展開のイメージ】

- ◆北海道を4つの圏域に分割し、それぞれの圏域に拠点校を配置
- ◆各圏域ごとに参集によるイベントの開催が可能になり、**地域に根差した活動が可能**

#### 【拠点校の役割】

- ◆管理機関と連携し、他の専門高校や産業界の関係者等に対して、産業界と連携した効果的な取組やその成果等を広く発信

# 本プロジェクトの目的

## 【横】のつながり

専門高校が**学科の垣根を越えて連携**し、  
静内農業高校（R6拠点校）をはじめとした  
効果的な職業人材育成システムの取組を、  
他の専門高校に**自走可能な形で横展開**

## 【縦】のつながり

専門高校と、**企業や中学校との**  
**縦の連携**を促進するとともに、  
**専門高校の価値や魅力**を普及・啓発



公式ロゴマーク  
(7つの★は職業学科を意味する)

# 本プロジェクトの3つの柱



**専門高校と産業界との連携を一層充実**

# 産学連携コーディネーターの主な役割

## ① 人的ネットワークの構築

職業学科担当の指導主事と連携して、各種イベント等を開催し、学科の特性に応じて、専門高校と産業界等を人的につなげる



人的につなげる



産学連携コーディネーター 月館 海斗 氏

# 産学連携コーディネーターの主な役割

## ② 「産業実務家教員リスト」の作成

専門高校と産業界のサステナブルな連携の実現に向けて、  
謝金等が不要で出前授業等が可能な職業人等をデータベース化し、  
専門高校と産業界のつながりを支援



出前授業



現場見学



先端技術の体験

# 産学連携コーディネーターの主な役割

## ③ 「おしごとガイドブック」の制作

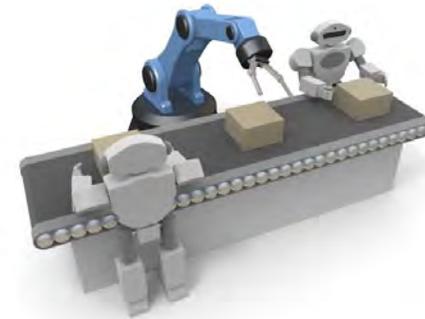
新たな産業やDXを活用して働く**専門高校卒業生の活躍**を紹介したガイドブックを制作して、中学・高校の1、2年生に配付し、**産業構造の変化**や**技術革新**に対応



洋上風力発電



半導体産業



DX化

## 02 今年度の主な取組



# 今年度の主な取組

## ① 半導体に関する出前講座等

高校向け出前講座や  
半導体関連のイベントを開催



出前講座の様子(釧路工業高校)

【出典】釧路工業高校Webページ

苦工半導体展

どうやって作る? シリコンウェルって? どこで使われている? 半導体って?

スマート社会を支える「半導体」を知ろう!

協力企業: MinebeaMitsumi, FJ Composite, Panasonic Industry, Rapidus, Nidec

日時: 令和7年12月25日(木) 9:00~12:00  
会場: 北海道苫小牧工業高等学校 (入場無料・申込不要)  
後援: 苫小牧市・苫小牧市教育委員会 協力: 千歳市企画部次世代半導体拠点推進室

同時開催: デジタル工作チャレンジ (申し込み), 情報技術科課題研究展示 (Game maker), 半導体研究パネル展示

北海道苫小牧工業高等学校 | 0144-36-3161 | 0144-36-3166

苦工半導体展チラシ(苫小牧工業高校)

小中学生向け  
プログラミング  
教室と同時開催し、  
多くの方が来場

# 今年度の主な取組

- ② 洋上風力発電に関する出前授業・見学バスツアー  
工業高校や水産高校を対象とした  
メンテナンス等の人材育成・確保に資する取組



風車の施工に必要なSEP船



見学バスツアー(小樽未来創造高校)

# 今年度の主な取組

③ 高校生チャレンジ in どさんこプラザ  
農業・商業・水産科の生徒が  
企業と協働で開発した商品を、  
**学科の垣根を越えて連携し、**  
北海道のアンテナショップ  
「どさんこプラザ札幌店」で販売



**6次産業化を学ぶ機会を創出**

高校生チャレンジ in  
どさんこプラザ

2025年  
12/5 (金) 6 (土) 北海道どさんこプラザ札幌店  
(札幌駅コンコース) 8:30~20:00 ※完売になり次第終了

<販売校>  
北海道千歳高等学校 北海道富良野高等学校 北海道更別農業高等学校

高校生の発想×企業の技術  
＝北海道の新たな魅力

<販売商品>  
函館あさひ ぶりほぐし(北海道函館水産高等学校)  
ヒメナッツ(北海道富良野高等学校)  
さつまいもうどん(北海道下川商業高等学校)  
さらのうばんカレー(北海道更別農業高等学校)  
まるで肉?!混ぜるだけ 担々麺の具(北海道本別高等学校)  
まるで肉?!混ぜるだけ ジャージャー麺の具(北海道本別高等学校)  
千歳オリジナル缶バッチ(北海道千歳高等学校)

【主催】北海道教育委員会

ポスター

# 販売の様子（参加校数：6校、出品商品数：7品）





北海道教育委員会

## 高校生チャレンジ in どさんこプラザ

2025年12/5(金)6(土) どさんこプラザ札幌店

<p><b>函館あさひ ぶりほぐし</b></p> <p>函館水産高校 × 株式会社 合食 函館第一工場</p>  <p>道産プリの活用、地域活性化を念頭に、函館水産高校の生徒が試行錯誤を重ねた試作品を地元企業の株式会社合食様の力をお借りして商品化しました。デザインやラベルも道南の業者で、プリの生命力と地域の想いが力強く結び付いた一品です。程良い塩味と酒粕の風味香る一品です。</p>	<p><b>ヒメナッツ</b></p> <p>富良野高校 × 株式会社 野菜田</p>  <p>地元企業の野菜田様と商業クラブ3年生3名が協働で開発しました。化学調味料不使用でノンフライスナックです。1個で1食分の野菜の栄養素が採れます。</p>
<p><b>さつまいもうどん</b></p> <p>下川商業高校 × 有限会社 たばた商事</p>  <p>恒例となった丸井今井札幌本店の下川商業高校販売実習会に向けて、下川町にある手延べ麺の製麺所と協働して開発したオリジナルうどんです。下川産小麦「はるゆたか」に、さつまいもの甘みがほのかに香る紫色の麺が特徴です。</p>	<p><b>さらのうぱんカレー</b></p> <p>北海道エ・ウォーター・アグリ株式会社 十勝更別工場</p>  <p>更別村は北海道一の畑作地帯である十勝の南西部にあります。本校で人気の加工品である更別産トマトで製造したトマトジュースと5つの野菜（じゃがいも、にんじん、たまねぎ、かぼちゃ、コーン）を使用した製品です。トマトの別名「蕃茄（ばんか）」と「カレー」を組み合わせて名付けています。今年発売した新商品です。</p>
<p><b>まるで肉?! 混ぜるだけ 担々麺の具</b></p> <p>本別高校 × 有限会社浜田旅館</p>  <p>総合的な探究の時間「とかち創生学」の活動で、陸別町の浜田旅館様と協働で開発しました。地元・本別町産の大豆ミートをふんだんに使用し、「まるで肉?!」と驚くほどの食べ応えを実現。ゆでた麺にそのままかけるだけで、ゴマの風味豊かな本格的な担々麺と特製の甘い味噌が食欲をそそる本格的なジャージャー麺が手軽に完成します。</p>	<p><b>千歳オリジナル缶バッジ</b></p> <p>千歳高校 × 千歳市観光協会</p> <p>「カプセルトイで地域活性化〜千歳の新たなビジネスチャンス〜」というテーマで北海道商業クラブ研究発表大会で全道1位を獲得した千歳高校オリジナルカプセルトイです。キャラクターマーケティングを用いて千歳の特色を前面に押し出した缶バッジです。</p>

## 販売商品チラシ

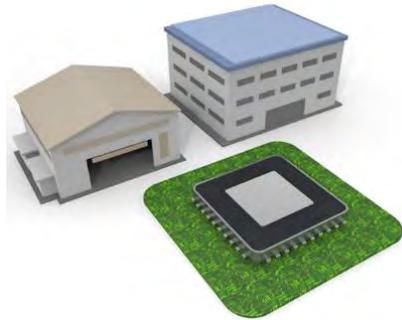
# 今年度の主な取組

## ④ 教員向け研修

道の建設部や経済部、建設業協会等の関係機関等と連携し、各種教員向けセミナーを開催



建設DX



半導体産業



洋上風力発電



観光産業



スマート農林水産業

**産業構造の変化や技術革新、新たな働き方などの理解促進**

# 半導体実践セミナー2025



エアシャワーを浴びる参加者



Rapidus (株) の工場を見学



参加者と講師の意見交換

## 参加者の声

- ▶ 見学や意見交換を通じて、科目「実習」や「課題研究」などの内容に、半導体の内容を組み入れるヒントを得ることができた。
- ▶ お互いの実情を知ることができる有意義な意見交換を実施できた。

## 【アンケート結果（一部）】 ※回答数13

① 本研修を通じて、半導体業界を生徒の就職先に勧めたいと思ったか。



「思った」	100%
「思わなかった」	0%

② セミナーの成果を今後、どのように生かしていくか。  
(複数回答可)

教科指導	: 12
進路指導・キャリア教育	: 11
自己の教材研究	: 11

# 今年度の主な取組

## ⑤ 専門高校魅力発見ガイド

【ねらい】

中学生の進路選択に関わる人の  
専門高校に関する理解を深める



本道産業の担い手を育成する道教委事業  
「北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト」監修

中学生の進路選択に役立つ

# 専門高校

# 魅力発見ガイド

POINT 01 小学科ごとに学習内容や就職先などの詳細を掲載

POINT 02 在校生や卒業生のインタビューも多数掲載

商業 家庭 農業 工業 看護 水産 福祉

～専門高校とは～  
職業教育を主とする学科を設置する高校を「専門高校」といい、  
本道には7つの学科の専門高校が設置されています。  
本ガイドは、中学生や保護者、中学校の先生方に、専門高校の魅  
力を知ってもらうことを目的として作成しました。

令和7年6月 北海道教育庁学校教育局高校教育課

ガイド表紙

このガイドブックを手にとった皆さんへ



この「専門高校魅力発見ガイド」は、中学生はもとより、保護者や中学校教員などの皆さんに、専門高校がもつ価値や魅力をより深く知ってもらうために制作しました。  
このガイドブックをきっかけに、一人でも多くの中学生の皆さんが専門高校についての理解を深め、本道の未来の創り手となることを期待しています。  
北海道教育委員会 産学連携コーディネーター 月館 海斗

専門高校についての理解を一層深めるために

ここでは、専門高校のことを理解してもらう上で参考となる情報をお知らせします。

01 文部科学省における魅力発信の取組

文部科学省では、専門高校の魅力の小中学生やその保護者等に広く発信するため、小中学生・保護者向けサイトとSNSを開設しました。

◆小中学生・保護者向けサイト「すごいぞ！専門高校」

専門高校で行われている授業の様子をショート動画にまとめ、現役高校生の声や、進路状況も掲載しています。中学生だけでなく、中学校の先生や保護者の方にも参考になる内容です。



【身近な職業マップ（サイト内）】

◆Instagram（専門高校アカウント）

専門高校アカウントの公式Instagramを開設し、全国の専門高校の生徒が制作したショート動画を数多く公開しています。道内の専門高校も複数掲載されています。



【紹介動画（左：釧路工業高校、右：置戸高校）】

02 工業科・商業科に関する校長会等のウェブサイト

北海道工業高等学校長会・北海道高等学校工業クラブ連盟のウェブサイトでは、ものづくりコンテストやロボット競技大会など、工業科の生徒が参加している大会等を紹介しています。

あわせて、本道の工業教育についてまとめた「新しい時代に向けた本道の工業教育—社会変革に挑戦する人づくりを目指して—」を掲載しています。（右図：表紙）



また、北海道高等学校長協会商業部会のウェブサイトでは、商業科の設置状況や、商業教育に関する各種事業等を紹介しています。（右図：ウェブサイト画面）



目次

・農業科・・・ P1	・看護科・・・ P20
・工業科・・・ P5	・福祉科・・・ P23
・商業科・・・ P9	・寄宿舎について・・・ P24
・水産科・・・ P13	・専攻科について・・・ P24
・家庭科・・・ P17	

巻頭言・目次

【農業科】夢に向かう在校生インタビュー



帯広農業高校農業科学科3年 松下 剛士 さん

Q1 農業科に入学した理由は？

A1 農業で様々な体験をしたかったこと、そして農業経営やスマート農業についての学習をしたくて入学しました。

Q2 農業科に入学してよかったことは？

A2 農業科では、他学科との交流や実習があります。また、進路では異業種を希望する人もいて、学びを深められることが入学してよかったことです。



Q3 好きな実習は？

A3 アンテナショップ「あぐりす」での販売です。実習で生産した商品について、消費者から直接声を聞くことができ、一次産業に関わることの楽しさ、難しさを実感できるからです。

Q4 将来の目標は？

A4 将来の目標は、家業のリンゴ園を継ぎ、高校で学んだことを生かして、今以上に安定した農業経営を行うことです。

【中学生へのメッセージ】

将来、目標がなくて何をしたいかわからない人が多いと思います。農業高校では、実習や販売会、産業界の方々からの講義など、たくさんの人との出会いがあります。それらの活動を通して、将来の目標を見いだすことができます。



旭川農業高校森林科学科2年 橋本 くるみ さん

Q1 農業科に入学した理由は？

A1 私は幼い時に自然についての本を読んだり、林業をしている祖父の話を知り、林業がすごいと思い入学しました。

Q2 農業科に入学してよかったことは？

A2 森林のしくみや樹木のことについて詳しく学ぶことができたことに加えて、演習林で自然を間近に感じる事ができたことです。



Q3 好きな実習は？

A3 演習林実習です。この実習では、1年生で樹種について詳しい説明を聞きながら観察することはもちろん、地域の植生を知ることができました。今後は発展的な実習となり、林業に係る学習や動力機械の操作を実学として体験できることを楽しみにしています。

Q4 将来の目標は？

A4 林業系の技術職員になることです。学校で学んだことを生かせることも、好きなことや興味あることを仕事にしたいと思っています。

【中学生へのメッセージ】

高校は自身が学びたい、楽しみたいと思ったところを選び、私は本校に入学できてよかったと思っています。皆さんと出会える日を楽しみにしています。

農業科ページ

# 今年度の主な取組

## ⑥ 専門高校魅力発見ミーティング

### 【趣旨】

専門高校の**価値**や**魅力**を発信

### 【内容】

産学連携コーディネーターによる  
進行の下、専門高校の**在校生**と  
**卒業生**によるトークセッション

産学連携コーディネーターと  
在校生や卒業生によるトークセッション（各学科ごと）

北海道教育庁学校教育局高校教育課  
産学連携コーディネーター  
月館 海斗  
株式会社すみか代表取締役  
札幌市教育委員会  
市立高校コンシェルジュ  
その他、教育現場における  
各種教育支援プログラムを実施



### 農業科

更別農業高校  
生活科学科2年 安田 恋音

能登農場 能登 亮太  
(旭川農業高校農業科学科卒)

### 家庭科

江別高校  
生活デザイン科3年 今 葵月  
光塩学園女子短期大学保育科  
立石 乙笑  
(当別高校家政科卒)

### 商業科

函館商業高校  
情報処理科3年 宮崎 蒼汰  
小樽商科大学商学部夜間主コース  
横濱 大和  
(札幌東商業高校情報処理科卒)

### 看護科

稚内高校  
衛生看護科3年 米木 怜於那  
札幌東徳州会病院 武藤 かりん  
(美唄聖華高校看護科卒)

### 福祉科

置戸高校  
福祉科3年 舟根 紗来  
西円山病院介護医療院  
戸塚 楓佳  
(置戸高校福祉科卒)

### 工業科

釧路工業高校  
建築科3年 猪股 実莉  
株式会社北海電工 長谷川 亜美  
(小樽未来創造高校  
機械電気システム科卒)

### 水産科

小樽水産高校  
海洋漁業科3年 更谷 奏斗  
函館水産高校教諭 工藤 聖矢  
(函館水産高校機関工学科卒)



中学生の進路選択に役立つ

# 専門高校魅力発見ミーティング

令和7年7月10日に開催した、専門高校の価値や魅力を発信する、  
オンラインイベント「専門高校魅力発見ミーティング」  
を視聴することができます。

農業高校の学びとは



各学科の学びや進路先  
などについて説明



## 各学科の魅力を動画で紹介



専門高校の在校生や卒業生と  
道教委の産学連携コーディネーター  
によるトークセッション



商業 家庭 農業 工業 看護 水産 福祉



ミーティングの動画は  
道教委webページで公開中



# 今年度の主な取組

## ⑦ ONE-TEAMコミッティ（事業運営委員会）

有識者で構成し、本プロジェクトの円滑な推進に向けて、  
専門高校の視察や産学連携に関する協議を行い、  
専門的見地から指導・助言（年3回開催）



第1回(札幌国際情報高校)



第2回(江別高校)

# 今年度の主な取組

## ⑧ ONE-TEAMニュース

### 【主な掲載内容】

- ◆本プロジェクトの取組
- ◆各高校の好事例
- ◆専門高校と産業界の連携につながるイベント等の情報

(道教委Webページに掲載)

マイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」

令和7年(2025年) 第5号 11月18日

ONE-TEAM News

北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導係

文部科学省マイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」(R6~7年度)の取組や、専門高校と産業界との持続可能な連携に資する情報、さらには各高校で取り組んでいる好事例について情報提供します。

「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」の詳細はこちら→



### 専門高校の魅力とは～専門高校魅力発見ミーティングの動画を公開～

7月10日(木)に開催しました「専門高校魅力発見ミーティング」の動画を「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」ウェブページ上で公開しています。

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉の各学科の卒業生・在校生と、道教委の産学連携コーディネーターによるトークセッションの様子のほか、各学科の学びについての説明を見ることができます。

専門高校についての理解を深められる内容になっていますので、是非御覧ください。

※ 動画の紹介チラシ(下図)は、本プロジェクトのウェブページに掲載しています。(右上の二次元コードを参照)



<トークセッション(農業)の様子>

中学生の進路選択に役立つ  
専門高校魅力発見ミーティング

令和7年7月10日に開催した、専門高校の価値や魅力を発信する、オンラインイベント「専門高校魅力発見ミーティング」を視聴することができます。

各学科の学びや進路先などについて説明

各学科の魅力を動画で紹介

### ※各学科のトークセッション及び説明動画リンク一覧

(1) 農業科  
トークセッション

説明

(2) 家庭科  
トークセッション

説明

(3) 商業科  
トークセッション

説明

(4) 看護科  
トークセッション

説明

# 今年度の主な取組

## ⑨ 産学連携シンポジウム（4会場）

### 【主な内容】

事例発表、パネルディスカッション、協議

### 【参加者数（4会場合計）】

教員 93 名、産業界関係者 85 名、生徒 16 名

### 【特徴】

学校外を会場とし、生徒・教員・  
産業界関係者による発表を聞いた上  
で協議



<拠点校による発表(道南会場)>



<パネルディスカッション(道央会場)>



<意見交換・協議(道北会場)>

# 今年度の主な取組

## ⑩ ONE-TEAMフォーラム（4会場）

### 【主な内容】

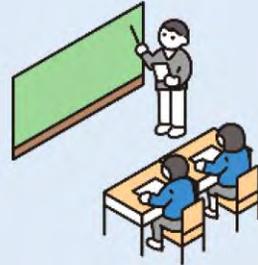
産業界関係者による出前授業の見学、協議

### 【参加者数（4会場合計）】

教員 94 名、産業界関係者 49 名、  
出前授業における生徒多数

### 【特徴】

会場校における出前授業の見学を  
踏まえ、産学連携の具体や生徒の変  
容をイメージした上で協議



<出前授業(道北会場)>



<出前授業(道東会場)>

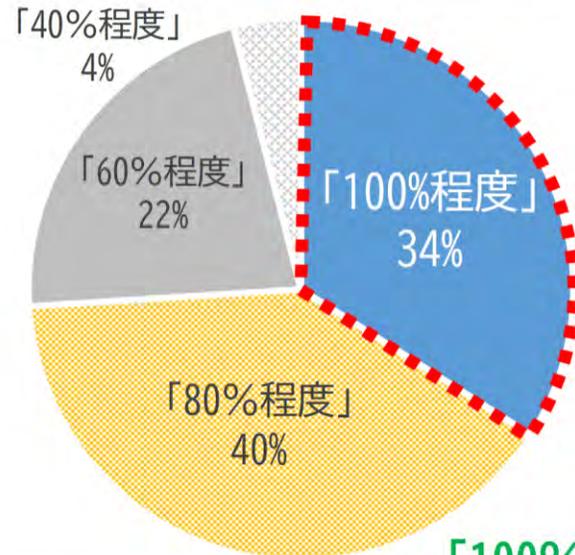


<意見交換・協議(道南会場)>

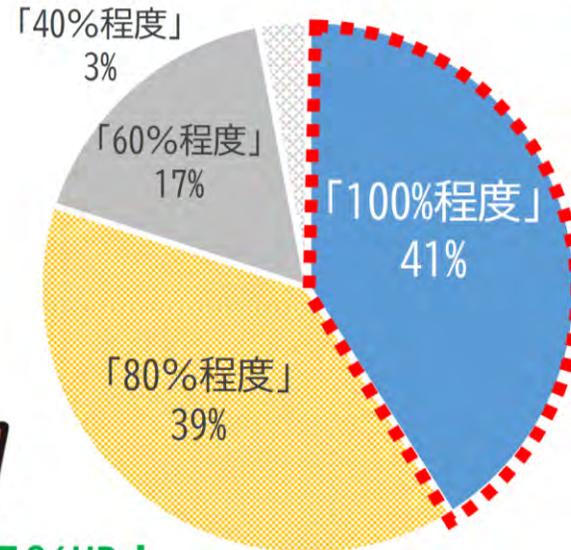
# 「産学連携シンポジウム」と「ONE-TEAMフォーラム」の比較

アンケート結果「満足度・充実度」

## 産学連携シンポジウム



## ONE-TEAM フォーラム



「100%程度」が7%UP！

アンケート結果を比較すると、「ONE-TEAM フォーラム」の方が、満足度・充実度が高いことが分かります。

この要因は、参加者が実際に出前授業を見学したことで、産学連携を身近に感じたことや、具体的な連携のイメージを描くことができたことなどが考えられます。

## 参加者の声

### 産学連携シンポジウム

- ・ 色々な業種の方や、他の高校の先生方と交流ができて大変勉強になった。(専門高校教員)
- ・ 今後のよりよい産学連携について、見直しをしなければならぬ部分があると感じた。(企業関係者)

### ONE-TEAM フォーラム

- ・ 事前学習、現地見学、まとめなど、複数回にわたって構造的に産業界と連携した授業が行われていて魅力を感じた。(専門高校教員)
- ・ 専門高校の授業を見ることで、学校の取組についても理解が深まった。(企業関係者)

# 今年度の主な取組

## ⑪ S7サミット（専門高校代表校長会議）

専門高校の代表校長と本プロジェクト拠点校の校長が参集し、**第29期北海道産業教育審議会建議**の内容を共有した上で意見交換



### 第29期北海道産業教育審議会建議（概要版）

#### 「本道産業の担い手育成に資する産業教育の在り方に関する調査」

北海道産業教育審議会は、「本道産業の担い手育成に資する産業教育の在り方に関する調査」を実施し、令和7年（2025年）11月25日、北海道教育委員会に建議を行いました。

#### 3つに整理した本道産業教育における課題

本道産業教育における課題を次の3つに整理した上で、13年振りとなる大規模調査を実施し、調査結果の分析を行いました。【建議2ページ】

課題  
01

#### 【専門高校の魅力】

専門高校の志願者が減少傾向



課題  
02

#### 【職業学科の教員】

職業学科の教員確保が困難



課題  
03

#### 【産業界との連携】

先端技術を学べる企業等との  
緊密な連携



### 第29期北海道産業教育審議会建議（概要版）

## 【S7サミットにおける意見交換のテーマ】

- ① 建議を踏まえた北海道の産業教育の在り方について
- ② テーマ別
  - A 専門高校の**魅力化・魅力発信**に向けて取り組むべきこと
  - B 生徒の学びを深める**持続可能な産学連携**に向けて取り組むべきこと

経済団体や中学校長会の  
審議会委員も交え、  
産学連携コーディネーターによる  
進行の下で意見交換



テーマ別意見交換の様子

# 今年度の主な取組

## ⑫ 専門高校ユナイテッド（北海道×福井県×熊本県）

道教委 専門高校ユナイテッド

### 産学連携の先進事例共有

#### 更別農高など3校実践発表

道教委は10日、オンラインでマイスター・ハイスクール普及促進事業「専門高校ユナイテッド」を開催した。更別農業高校、福井県立武生商工高校、熊本県立天草工業高校の3校の代表生徒がそれぞれの教育活動を発表。コムギの6次産業化やスマート農業、商業と工業の連携による地域企業の課題解決、地域企業との連携による実践的な学びなど、それぞれの産学連携の先進的な取組を共有した。

専門高校ユナイテッドは、専門高校で学ぶ生徒等

ギの6次産業化の学習では、帯広畜産大学と連携したスペルト小麦の栽培・加工・販売などを進めていることを紹介した。

また、生物刺激剤を活用した持続可能な栽培、農薬用ドローンの操縦資格取得と実習を通して、スマート農業を学んでいることを報告。これら産学連携を通じて専門力の向上、社会とのつながりの実感、課題解決能力の育成、学習意欲の向上などにつながっているこ

が、道や県の垣根を越えて、地域産業の魅力や産学連携における先進的な取組を理解することで、地域創生を支える人材育成の充実を図ることがねらい。事業に取り組んでいる3道県のうち、各教委が選定した専門高校の代表生徒および代表教員27人が参加した。開会に当たり、高校教育課の石田曉課長補佐があいさつ。産業構造が大きく変化する中で、専門高校の生徒が実習や現場体験を通して社会に近い場所で学びを深めることの価値を示し、この交流が専門高校の可能性を伝えた。

武生商工高では、商業と工業の連携による課題研究の実践を紹介。地域企業から実際の課題を受け、商業科のマーケティングやデザインの見点と工業科の設計や加工技術を組み合わせ、解決策を提案する取組を伝えた。

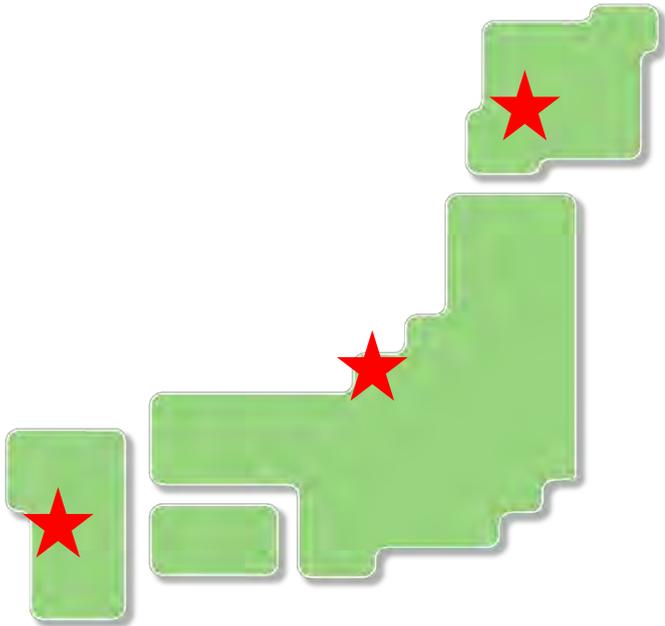
天草工業高では、熊本県版マイスター・ハイスクールの特徴として、市町村単位で学校・企業・行政・銀行が連携し、地域を担う産

性を広げる契機になるよう期待した。続いて、参加生徒を代表して旭川商業高校流通ビジネス科3年の大橋くるみさんが「他地域の専門高校の学びや特色を知る機会が少ない中で、今回の交流は貴重な機会。この出会いを通して自分たちの強みや課題を見つめ直し、学びや進路選択に生かしていきたい」とあいさつした。

実践発表に移り、更別農業高は、作物栽培、家畜飼育、食品加工、草花栽培、福祉の分野でのプロジェクト学習について説明。コム

業人材育成に取り組んでいることを報告。スクールミッションとの整合性を図りながら、機械科、電気科、土木科、情報技術科の各学科で地元企業と連携した特色ある取組を行っていることを紹介した。

このあと、生徒・教員グループに分かれて協議を展開。各グループは地域産業と専門高校の学びの連携、企業との協働による実践的な学習の重要性などを共有した。



北海道通信(日刊教育版):令和7年12月15日

# 今年度の主な取組

## ⑬ 産業実務家教員リスト

- ◆ 出前授業やインターンシップ、現場見学など、謝金や旅費等が不要で、専門高校との連携が可能な企業等の情報を掲載
- ◆ 全ての専門高校に配付し、学校にとって負担の少ない産業界とのサステナブルな連携に向けて支援

### イメージ

No	企業名	部署等	担当者	TEL	メール	分野	連携内容	可能な地域	備考
1	〇〇株式会社	〇〇課				観光	〇〇の見学受入れ	全道	
2	株式会社〇〇	〇〇営業所				建設DX	〇〇の貸与	釧路、根室	
3	〇〇有限会社					食品加工	出前授業	〇〇管内	オンライン可
4									

# 今年度の主な取組

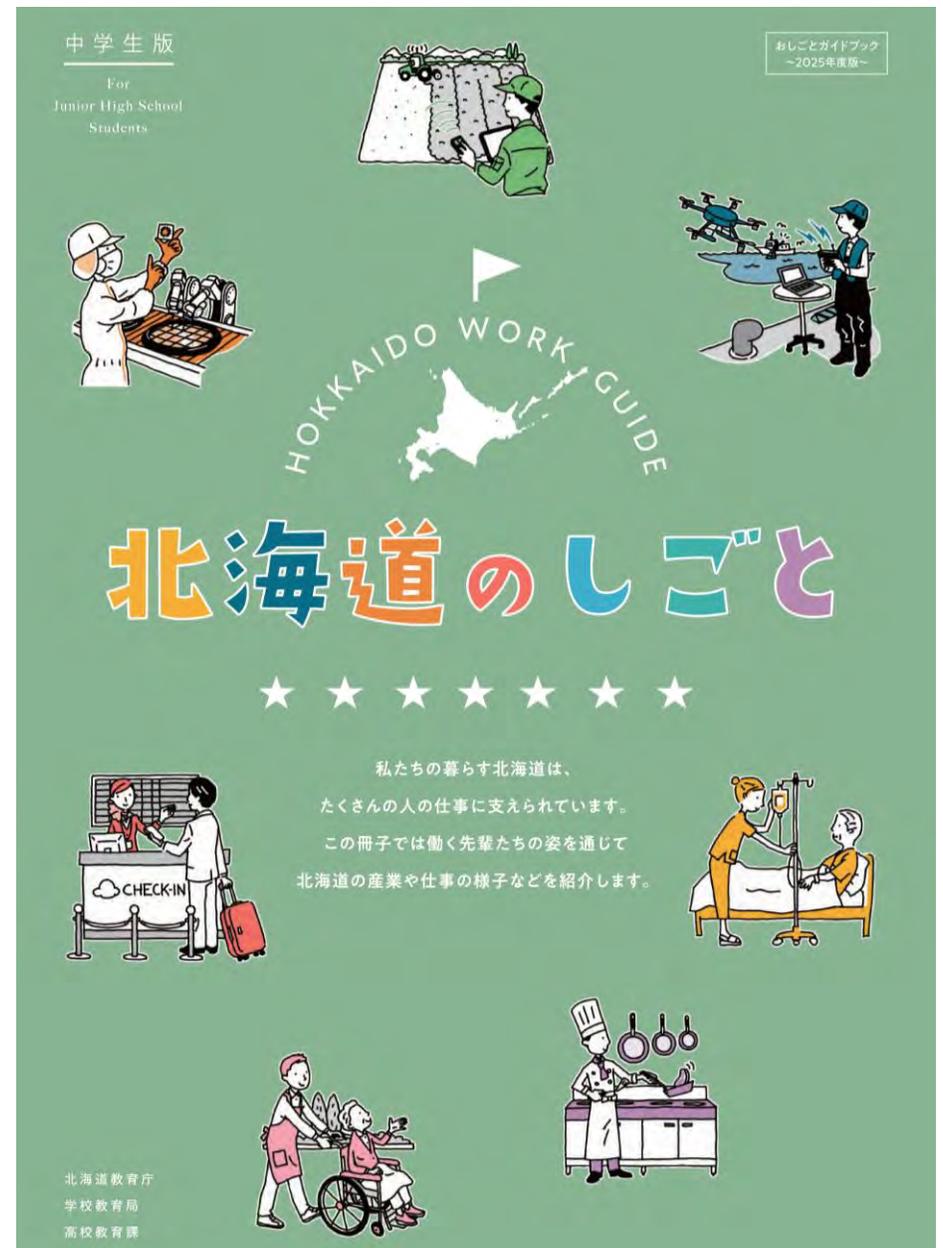
## ⑭ おしごとガイドブック ～2025年度版～

### ◆配付先

道内の中学・高校1、2年生

### ◆目的

- ▶ **新たな産業や働き方**に関する理解を深めて職業を選択
- ▶ 中学生が専門高校の学習内容や進路等を踏まえて高校を選択
- ▶ **地方創生**を支えている**専門高校の魅力**を発信



「おしごとガイドブック2025年度版（中学生版）」表紙



# 半導体産業

北海道のしごと

## 自動搬送ロボットの活用



工場では、荷物を運ぶ自動搬送ロボットを導入しています。おかげで、体力的な負担を軽減できるほか、効率的な人員配置が可能になり、社員は、人間でなければできない業務に、多くの時間を充てることができています。

## 半導体を活用した自動車産業の魅力

自動車整備をしている父の影響もあり、自動車に携われる仕事を希望しました。自分が製造している部品は、ディーゼルエンジンの燃料を噴射する装置に使用されています。街中で自分が携わっている自動車を多く見かけると、大きなやりがいを感じます。



## よりよい製造工程の実現

製造工程において不良の可能性を感じた際には、些細なことでも、上司などに報告することが重要です。また、常によりよい製造工程になるよう考えて行動することが大切であり、自分の考えた改善の提案が実現したときには大きな達成感を得られます。



株式会社デンソー北海道  
【千歳市】  
経理 晴彦さん  
札幌工業大学  
電気科卒業



# データセンター

北海道のしごと

## 世界中のどこにいても仕事ができる



プログラミングにAIを活用するなど、業務の効率化を進めています。また、オフィス勤務と、自宅などで行うリモートワークを組み合わせたハイブリッドワークを導入しています。パソコンとWi-Fiがあれば、場所を問わず仕事ができます。

## ITで人々の生活を支える

企業の方が安心して働けるよう、サーバーやネットワークを整えるインフラエンジニアとして働いています。お客様の「こうしたい」という声を聞き、安全で使いやすいネットワーク環境をつくるのが役割です。災害時にも頼られる仕組みづくりなど、人々の生活を支えているやりがいのある仕事です。



## 憧れが自分の仕事に

小さい頃から電子工作が好きで、IT業界に憧れていました。その思いから情報技術を学べる工業高校に進学し、在学中は当社を含む複数社が主催する子ども向けプログラミング教室のアシスタントも経験しました。今は憧れの業界で働くことができ、充実した毎日を送っています。



ビットスター株式会社  
【札幌市】  
大室 秀太さん  
札幌学院工業高校  
情報技術科卒業



# 航空業界

北海道のしごと



## お客さまの喜びが原動力



国際ビジネス科の授業で学んだ、英語やビジネスマナーはもちろんのこと、在学中に取り組んだ大型客船でのおもてなしを実践する授業は今の仕事をやる上で、非常に役立っています。お客さまに喜んでいただけること、私も嬉しくなります。

## お客さまに身近に感じていただける存在

空港で、JALのチェックインカウンター業務や、出発・到着ロビーのご案内などを担当しています。当日の運航状況や搭乗人数などの確認も重要ですが、お客さまに身近に感じていただけるよう、表情に気を配っています。常に笑顔を抑えず、お客さまと積極的にコミュニケーションをとるよう心がけています。



## チームワークが重要

到着便を担当する際には、客室乗務員の方と引き継ぎを行います。短時間のやりとりですがケアが必要なお客さまの情報など、大切な情報が多いので正確に把握し、次の便の出発が遅れることがないよう迅速な対応を心がけています。仲間とのチームワークが重要です。



日本航空株式会社  
【釧路市】  
米岡 美乙さん  
新潟県立五稜高等学校  
国際ビジネス科卒業



# 建設DX

北海道のしごと

## 完成イメージが描ける最新ソフトの活用



最新のソフトを活用して建物の平面図を作成することで、立体的な完成イメージとともに、必要な部材の数量や仕様、費用、工程に要する時間などを、関連する情報を計算してくれます。情報を簡単に把握することで、残業が大幅に減っています。

## 建築現場のまとめ役となる「施工管理」

小さい頃から大工の仕事に興味があり、建築科に入学しました。インターンシップがきっかけとなり、建築現場における作業工程や資材の管理、事故を起こさない安全管理などを行う施工管理に興味をもちました。これまでに、学校の改修やお寺の増築などに携わってきました。



## 地図に残る建設業の魅力

大工や塗装などを専門とする職人さんと一緒に働くことがあり、皆さん優しく接してくれます。施工管理の魅力は、多くの方々と一緒に建物を一からつくり上げ、完成したものが地図に残ることです。今後は、木造建築や鉄筋コンクリートなど、多くの工事に携わってまいります。



株式会社高橋組  
【函館市】  
中村 愛海さん  
函館工業高校  
建築科卒業

# 「おしごとガイドブック2025年度版（中学生版）」

高校生たちが語る  
産業界とつながった学びと成長の物語

岩見沢農業高校農業科3年の仁平佳太さん、  
苫小牧工業高校建築科3年の堂畑麗音さん、  
美唄聖華高校衛生看護科2年の寛爪玲奈さんが、  
専門高校における学習内容や将来の目標などについて  
語ってくれました。(進行:月館)

魅力ある専門高校の学びを通じて北海道の未来を創る

このガイドブックを手にとった中学生の皆さんへ

私は、北海道教育委員会で、産学連携コーディネーターを務めている月館海斗といます。このガイドブックは、中学生の皆さんに、北海道における産業構造の変化や新たな働き方とともに、専門高校(職業学科を設置する高校)について理解を深めてもらうことを目的として制作しました。

専門高校には、本当に多くの魅力が詰まっています。そこで、今年度、道教委では、専門高校の価値や魅力を広く発信するオンラインイベント「専門高校魅力発見ミーティング」を初開催しました。内容は7つの職業学科ごとに、専門高校の在校生と卒業生でトークセッションを行うというものであり、当日の様子を、道教委webページに掲載していますので、是非、御覧ください。

皆さん一人一人が、専門高校について理解を深めるとともに、将来は、本道の未来の創り手となることを期待しています。

産学連携コーディネーター 月館 海斗

「専門高校魅力発見ミーティング」のURL  
[https://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/sangyo\\_top.html](https://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/sangyo_top.html)

こちらの二次元コードからも  
アクセスできます



実践的・体験的な学びを通じて、  
社会に役立つ実感を得られることが専門高校の魅力

- 月館 「専門高校に入学したきっかけや、学校の魅力について教えてください。」
- 仁平 「私の家は農家で、将来は家業を継ぎたいと思い、農業高校に入学しました。農業高校では、家ではやっていない野菜の生育や管理を学べました。スケールの大きい北海道の農業のことを学べたことが自分の財産となっています。」
- 月館 「農業高校だからこそ得られた経験は、とても魅力的ですね。」
- 堂畑 「私は、姉も卒業した工業高校の建築科で学ぶうちに、将来のことを考えるようになりました。製図や足場組立てなどの実践的な授業のほか、現場見学など、実際に建設業に携わっている方々との関わりを通じて、建設業に就職することを決めました。」
- 月館 「まちづくりを支えている建設業には、大きな魅力がありますね。」
- 寛爪 「私は帯広市の出身ですが、最短で看護師になりたいと思い、今の学校に入学しました。高校卒業後に大学や専門学校に進み看護師になる人も多いですが、私の高校は同じ志をもった仲間と学べるので、毎日がとても充実しています。」
- 月館 「皆さんのお話を伺って、充実した高校生活を過ごす姿が想像できました。」



専門高校で学んだ経験を生かし、  
地域の持続可能な発展を支える人材を目指す

- 月館 「これからの目標について教えてください。」
- 仁平 「農業高校で勉強していくうちに、自分に足りないところや身に付いたことが分かりました。また、『こうしたら農業生産がより効率的になるのでは』などといった想いが湧いてきましたので、農業系の大学に進学し、勉強を続けていきたいです。」
- 堂畑 「私は自宅から通える建設会社に就職します。今は、現場監督に必要な資格の取得に向けて勉強しています。入社後は、さらに上級の資格を取得して、大きな建物の建築に携わるなど、仕事の幅を広げていきたいと思っています。」
- 寛爪 「私は2年生ですが、3年生の秋頃から始める病院での実習に向けて、まずは授業を大切にすることです。新しい命が生まれる瞬間に立ち会える助産師の仕事にも興味があるので、3年生から始める母性看護の勉強も楽しみにしています。」
- 月館 「皆さんがそれぞれの分野で活躍し、未来の北海道を支えている姿を見られる日を楽しみにしています。今日はありがとうございました。」



「おしごとガイドブック2025年度版（中学生版）」

# 専門高校が取り組んでいる「縦」と「横」のつながり

専門高校では、北海道の未来を担う人材の育成に向けて、企業や小・中学校との「縦」のつながりと、学科の垣根を越えた専門高校同士の「横」のつながりの両面から、創意工夫のある教育活動に取り組んでいます。北海道教育委員会では、こうした取組を通じて、生徒一人一人がもつ可能性や能力をさらに高める産業教育を推進し、次世代の産業の担い手となる人材の育成を進めています。



工業高校と空調専門メーカーが連携した人材育成

## 【専門高校×企業の連携事例】

気候変動が進みエアコンの需要が高まる中、旭川工業高校では、空調設備に関する人材育成の充実に向けて、ダイキン工業（株）と連携し、教員対象のセミナーや人材育成に関する意見交換を行いました。このような連携によって、ダイキン工業（株）から学校に複数台目のエアコンや専用工具が寄贈され、現在は、電子機械科においてエアコンの据付実習が行われています。また、帯広工業高校においても同様の産学連携が進むなど、道内の工業高校において、テクノロジーで未来を創る人づくりが進められています。

旭川工業高校 × 帯広工業高校 × ダイキン工業株式会社

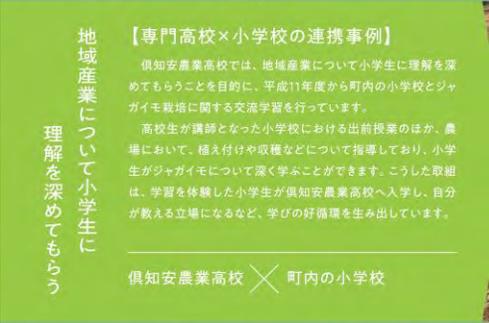


半導体の価値や魅力を発信する「苦工半導体展」の開催

## 【専門高校×企業の連携事例】

苫小牧工業高校では、半導体関連企業や周辺の自治体と連携し、小中学生や市民を対象に、半導体に関して理解を深めてもらうイベント「苦工半導体展」を毎年開催しています。併せて、生徒が講師を務め、小中学生を対象としたプログラミング教室も同時開催しており、参加者は、音楽が鳴ってイルミネーションが点滅する「クリスマスオーナメント」の製作などを行っています。高校生が中心となって企画したこうしたイベントを通じて、半導体の魅力に加え、工業高校の魅力を広く発信しています。

苫小牧工業高校 × 半導体関連企業・自治体等



地域産業について小学生に理解を深めてもらう

## 【専門高校×小学校の連携事例】

倶知安農業高校では、地域産業について小学生に理解を深めてもらうことを目的に、平成11年度から町内の小学校とジャガイモ栽培に関する交流学習を行っています。高校生が講師となった小学校における出前授業のほか、農場において、植え付けや収穫などについて指導しており、小学生がジャガイモについて深く学ぶことができます。こうした取組は、学習を体験した小学生が倶知安農業高校へ入学し、自分が教える立場になるなど、学びの好循環を生み出しています。

倶知安農業高校 × 町内の小学校



地域とともに学ぶ教育を推進

## 【専門高校×小学校の連携事例】

下川商業高校では、町内の小学生と合同で販売実習会のロールプレイングを実施するなど、地域とともに学ぶ教育を推進しています。小学生は、高校生の販売練習にお客役として参加した後、高校生のサポートを受けながら、会計や販売の業務を体験します。こうした取組を通じて高校生には自主性と主体性が身に付き、小学生には勤労観や職業観が醸成されるなど、地域をフィールドとした学びが展開されています。

下川商業高校 × 町内の小学校



農業と福祉の関わりについて理解を深める

## 【学科の垣根を越えた連携事例】

美幌高校農業科と置戸高校福祉科では、学科の垣根を越えた連携学習に取り組んでおり、野菜栽培に関する学習を通して、「農福連携」や「園芸療法」について学んでいます。具体的な取組としては、農業科の生徒が講師となり、福祉科の生徒に対し、野菜栽培に関する知識・技術を指導するなどして、農福連携について学びを深めています。また、福祉科の生徒は、園芸療法の意義や、その実施方法などの学習を通して、福祉についての理解を深めています。

美幌高校 × 置戸高校



地域資源を有効活用した探究活動に取り組む

## 【学科の垣根を越えた連携事例】

大野農業高校と函館水産高校では、道南地域において、水揚げ量が多いホッキやホタテの貝殻にミネラルなどの肥料成分が豊富に含まれていることに着目し、連携して地域資源の有効活用に係る探究活動に取り組んでいます。両校では、それぞれの学科の特色を生かし、貝殻を粉砕して肥料化することで、肥料費の削減や廃棄される貝殻の有効活用、病害虫に強い作物づくりなど、一次産業の課題解決につなげています。

こうした取組によって、化学肥料を抑えた持続可能な農業生産の実現や、廃棄物問題の解決など、SDGsについての学びを深めています。

大野農業高校 × 函館水産高校

## 「おしごとガイドブック2025年度版（中学生版）」

# 今年度の主な取組

## ⑮ 北の専門高校ONE-TEAMフェスタ（成果発表会）

**専門高校の価値や魅力を発信**  
**北の専門高校**  
**ONE-TEAM フェスタ**  
**専門高校を取り巻く人と人がつながる**  
**2026.2.13 金**  
 10:05-10:50  
**基調講演** 株式会社LAUGH GROUP代表取締役社長 大坪 友樹 氏  
 「海とまちを近くする会社」の地域づくり実例  
 ★産業界等と専門高校との連携による成果や、自己の変容などを生徒が発表  
 前半11:00-12:00 後半14:40-15:50  
**拠点校等による成果発表**  
 小樽水産高校 旭川工業高校  
 旭川商業高校 更別農業高校  
 室蘭工業高校 置戸高校  
 13:00-14:30  
**交流会**  
 ★産業界等と連携して開発した商品の販売  
 〇札幌東商業 苫小牧総合経済 函館水産 旭川商業 富良野 更別農業  
 ★社会とのかかわりの中で生徒が学んできたことについての**展示**  
 〇札幌工業 当別 静内農業 函館工業 大野農業 稚内  
 ★産学間の名刺交換や個別の交流  
**札幌コンベンションセンター 中ホール**  
**会場** 市営地下鉄東西線札幌駅から徒歩8分  
 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1  
**参加対象**  
 ●道内の専門高校で職業学科を担当する教諭等  
 ●道内企業・経済団体等の関係者  
 ●産業教育に関心のある方（中学生保護者等）  
 ●道内の専門高校で学ぶ生徒  
**申込みはこちらから**  
 道教委による旅費支給対象教員  
 道教委による旅費支給対象生徒  
 産業界等上記以外の参加者  
 締切 1月30日(金)  
 締切 1月30日(金)  
 締切 2月6日(金)

## 北の専門高校ONE-TEAMフェスタ

発表内容	午前	小樽水産	栽培漁業科3年	依田 那奈 小林 唯我
		企業と連携した藻場再生とゼロカーボンへの取組について		
	旭川商業	国際ビジネス科2年	中村 華愛 高橋 拓哉 高柳 陽菜	
	企業や大学との連携授業を通して学んだこと			
	午後	室蘭工業	電子機械科2年	五十嵐 正彦
		産業界と連携・協働した室蘭工業高校の取組		
旭川工業	電子機械科3年	平野 真希 渡邊 燦人		
空調設備の担い手となるために ~ダイキンとの出会い~				
更別農業	農業科2年	仲本 太陽	生活科学科2年 手塚 ゆきな	
社会とつながる私たちの学び				
置戸	福祉科3年	舟根 紗来		
	他分野との産学連携を通して考える福祉の可能性~すべての人々へ！福祉の力で豊かな人生を~			

交流会	札幌東商業	(販売) ①やみつきにんにく味噌だれ <㈱アップデート(札幌市)> ②QUEEN CARROT <㈱シヨクラク(石狩市)> ③わかさば <㈱オルソン(札幌市)>
	苫小牧総合経済	(販売) フロラッコベリー <㈱三星(苫小牧市)>
	函館水産	(販売) 函館あさひがりほぐし <㈱合食函館工場(函館市)>
	旭川商業	(販売) 焼きおにぎりのためのお米 <上森米穀店、日本醤油工業(旭川市)>
	富良野	(販売) ヒメナッツ <㈱野菜田(富良野市)>
	更別農業	(販売) さらのうばんかー、さらのうキマ <北海道エア・ウォーター・アグリ(更別市)>
	札幌工業	(展示) サクラマスかば上る都市河川~琴似発祥の未来へつなぐ産学場所づくり~
	当別	(展示) 家政科の地域連携 ~私たちの笑顔届ける活動~
	静内農業	(展示) 新ひたか町産科件を活用した特産品の創出~CEMによる商品生産を目指して~
	函館工業	(展示) ① STEAM教育とキャリア形成の実践 ② 地域のデジタルファブリケーション拠点としての役割
	大野農業	(展示) 国分北海道(株)と連携した「道南で躍進する食関連産業育成事業」の取組
稚内	(展示) 稚内高校看護科における地域と連携した学びの実践事例	

## 本プロジェクトにおける2年間の成果と課題



- 学校と産業界の交流
- 連携における相互のニーズについての理解
- 連携可能な企業等の情報を発信
- 専門高校の価値や魅力を発信



- △ 広域分散型の本道における連携の持続化
- △ 産学連携の効果を実感できる一層の工夫

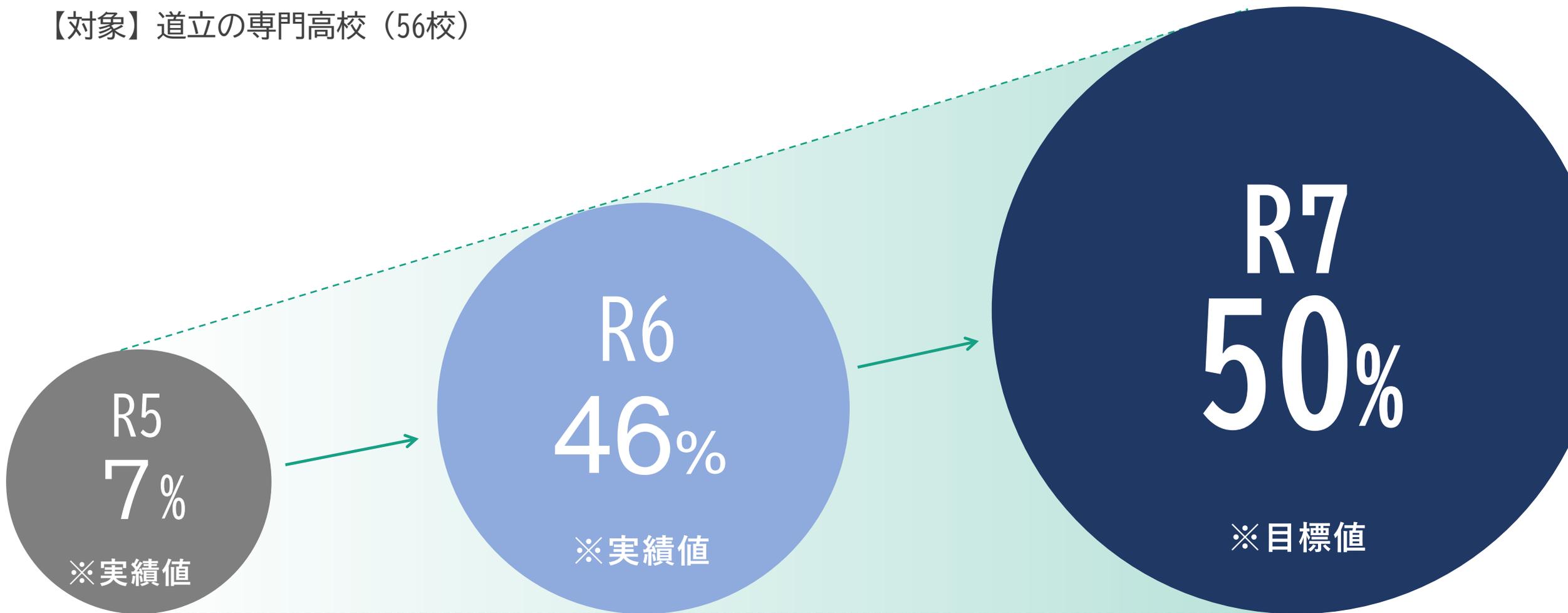


## 03 次年度以降の方向性

## 達成目標①

コンソーシアムの構築や産業実務家教員による指導の教育課程への位置付けなど、**産業界との連携・協働体制を組織的に構築**できている専門高校の割合

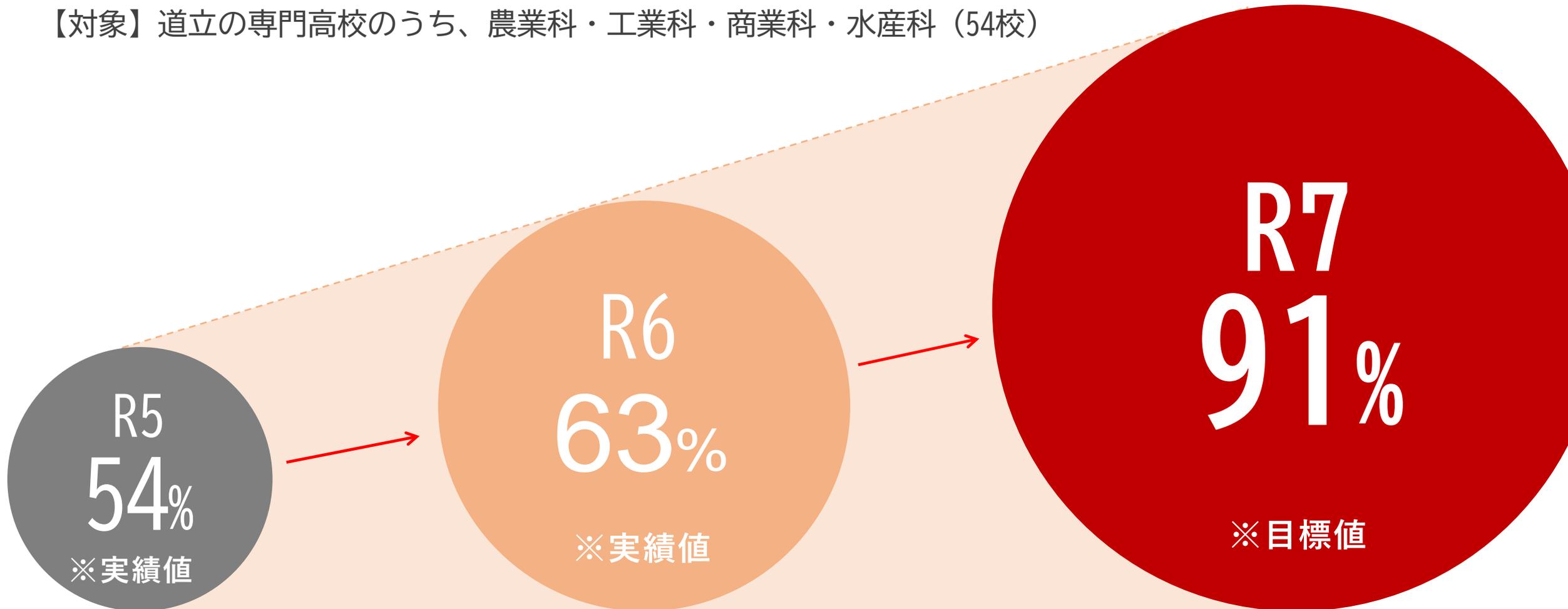
【対象】道立の専門高校（56校）



## 達成目標②

産業界の有識者を招いた協議等の機会を設けて、地域の人的・物的資源を活用しながら教育活動を行っている専門高校の割合

【対象】道立の専門高校のうち、農業科・工業科・商業科・水産科（54校）



# 次年度以降の方向性

## 「産業実務家教員リスト」の活用を一層促進

### 「産業実務家教員リスト」の活用事例

本プロジェクトでは、生徒に対して実践的・体験的な学習機会を提供することを通じて、高度な知識・技術を身に付けさせることを目的として、専門高校との連携が可能な職業人又は事業所をまとめた「産業実務家教員リスト」を令和7年3月に作成し、道内すべての専門高校に配付しました。本号では、「産業実務家教員リスト」の効果的な活用事例を紹介します。

#### 1 ニデック SV プローブ電子株式会社（上富良野町）との連携

ニデック SV プローブ電子（株）は、出前授業や工場見学、インターンシップの受入れなどの連携が可能であり、道内全ての専門高校を対象としています。新たな産業について学ぶ機会として、是非活用してください。

##### ・苫小牧工業高校情報技術科

工業高校の価値や魅力、半導体が社会に与える影響等について広く小・中学生や地域住民に発信することを目的に、企業や自治体と連携したイベント「苫工半導体展」を毎年開催しています。

##### ・名寄高校情報技術科

最新設備を有する実習棟「クタミライ」（令和6年度新設）を活用しながら、半導体に関する基礎について学んでいます。さらに、こうした先端技術に関する学びを一層充実させるために工場見学を行うことで、生徒の進路意識の高揚や学習意欲の向上につながるなど、大きな成果が見られています。



<「苫工半導体展」の様子（苫小牧工業高校）>



<工場見学の様子（名寄高校）>

### 工業科の活用事例

#### 2 株式会社星野リゾート（札幌市）との連携

株式会社星野リゾートは、観光業やマーケティングに関する出前授業や職場見学、インターンシップの受入れなどが可能であり、道内全ての専門高校を対象としていますので、是非活用してください。

##### ・旭川商業高校国際ビジネス科

国や北海道の観光産業においては、新たな観光資源の創出の動きがある一方、人手不足の問題もあります。こうした中、地域における観光産業の学びに力を入れるため、科目「観光ビジネス」において、株式会社星野リゾートの協力を得て、現場見学や出前授業など行っています。

現場見学の前には、北海道観光人材発掘事業事務局より、宿泊業界や旅行業界について学びを深める事前授業を行っていただくことで、現場見学がより一層、意義のあるものとなっています。



<現場見学の様子>



<事前学習の様子>

### 商業科の活用事例

# 次年度以降の方向性

## 「産業実務家教員」の確保とサステナブルな連携の支援

「北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト」  
**産業実務家教員**  
**ミーティング**

令和8年  
**1月20日** **火** Zoom開催 14:00～15:55

産業界等の関係者が、産学連携の意義や事例を共有し、互いの知見を深め、専門高校における産学連携のさらなる充実・発展を図ります

**[参加対象]**

- (1) 産業実務家教員
- (2) 学校と産業界の連携に関心のある産業界の方

**[産業実務家教員とは]**  
本事業では、旅費や謝金  
が不要で、専門高校との連  
携が可能な、各産業に従事  
する職業人又は事業所のこ  
とを「産業実務家教員」と  
呼んでいます。  
生徒に対して高度な知  
識・技術や、実践的・体験  
的な学習機会を提供するこ  
とを目的としており、持続  
的で専門高校と産業界の双  
方にとってプラスとなる関  
係を構築することを目指し  
ます。

チラシ

**イベント内容**

**申込フォーム**  
  
<https://forms.gle/XQXQCDGsCnGCQhgr9>

**[申込締切]**  
1月14日(水)  
上の二次元コード  
から1名ずつ参加  
申込みを行って  
ください

**説明** (14:05～14:25)  
「第29期北海道産業教育審議会建議『本道産業の担い手育成に資する産業教育の在り方に関する調査』について」  
第29期北海道産業教育審議会副会長  
(北海道武蔵女子大学 専任講師) 明田川 知美 氏

**発表1** (14:25～14:45)  
「高校との連携で企業が得たもの」  
ニデックSVプローブ電子株式会社  
管理部 人事総務担当責任者 西山 香織 氏

**発表2** (14:45～14:55)  
「建設業界を目指したきっかけ  
～産学連携が生んだ人とのつながり～」  
北海道苫小牧工業高等学校 建築科3年 堂畑 麗音

**協議** (14:55～15:35)  
「高校との連携の望ましい在り方」

**全体共有** (15:35～15:50)  
各グループの協議内容を発表

ミーティング内容

# 次年度以降の方向性

## 学校と産業界の「一緒に人を育てていく」という意識を醸成

### ◆ 「一緒に人を育てていく」という意識

- ・ 専門高校は、産業界等と連携し、例えば「**課題研究**」において先端技術に触れる機会を確保するなど、学習活動の一層の充実を図ることが重要である。その際、対話や協働を通じて「一緒に人を育てていく」という意識を醸成することが大切である。



対話や協働を通じて  
「**一緒に人を育てていく**」  
という意識で連携



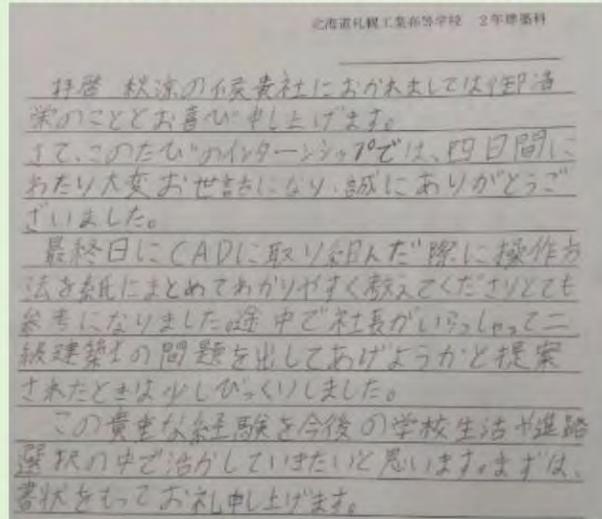
# 次年度以降の方向性

## 学校と産業界が「一緒に人を育てていく」という意識を醸成

### 例1 企業に礼状や感謝状を送付して、生徒の変容や感謝の思いを伝える（札幌工業高校）

企業の方にとっては、インターンシップや現場見学会などの連携した取組によって、生徒にどのような変容が見られたのかを知ることで、今後の連携における参考とすることができるほか、社員のモチベーション向上にもつながります。

札幌工業高校では、インターンシップにおける事後指導の一つとして、生徒が自分の言葉で礼状を作成し、それぞれの受入れ企業に送付しています。また、一般社団法人札幌建設業協会（岩田圭剛会長）と緊密に連携して、生徒や保護者を対象とした現場見学会を実施しており、協力いただいた関係企業等に対しては、校長から感謝状を贈呈しているほか、人材育成に関する意見交換も定期的に行っています。



<生徒の気持ちが込められた手書きの礼状>

【出典】大太平洋建業株式会社（札幌市）Instagram



<協力企業の皆様に対して校長（中央）から感謝状を贈呈>

【出典】一般社団法人札幌建設業協会ウェブサイト

# 次年度以降の方向性

## 学校と産業界が「一緒に人を育てていく」という意識を醸成

### 例2 地域と学校が協働できる体制を構築する（名寄高校）

学校と産業界等が人材育成の理念を共有し、コンソーシアムのような体制を構築することは、連携した取組が継続しやすく、持続可能な産学連携につながります。



名高応援団員募集

地域と学校が共に育ち、未来を創造するために

つながる 伝える 支える

名高新聞の定期発行  
学校行事への招待  
など

教育活動への協力  
総合的な探究への協力  
シェアリーダーイング  
部活動外部指導者  
など

最先端機器運用管理費  
団費支援事業支援  
行事・大会の交通費  
など

対象：名寄高校を応援したい全ての個人・団体  
一般会員(無料) / 特別会員(年間助成-113,000円)

特典：名高新聞の配信(月1回程度) 行事・探究発表会への室内送付  
部活動・生徒会活動の活動報告 希望者の名前を1Pに記載

申込み：記載のQRコードを読み取ってお申し込みください。  
事務局(名寄市商工会議所)から返信メールは送付します。

問い合わせ先：北海道名寄高等学校 教頭 永原 電話 01654-3-6842

<名高応援団チラシ>

名寄高校では、令和7年10月、名寄商工会議所（大野茂実会頭）と連携し、学校を支える仕組みを地域社会全体で作ることなどを目的に、パートナーシップ組織「名高（めいこう）応援団」を設立しました。

事務局業務を学校と商工会議所で分担し、校内で作成した「名寄高新聞」を団員にメール配信するなどして情報を発信しつつ、団員の確保に努め、授業・探究・部活動などに参画していただける幅広い人材や資金の確保を進めています。



<名寄市の加藤市長（中央）をはじめとした関係者による結団式>



<入団申請フォーム>

【出典】名寄商工会議所ウェブサイト

# 次年度以降の方向性

## 学校と産業界が「一緒に人を育てていく」という意識を醸成

### 例3 インターンシップ報告会に受入れ企業の関係者を招待する（札幌琴似工業高校）

インターンシップの実施に当たっては、学校と企業が一緒になって、事前・事後指導に取り組むことが考えられます。札幌琴似工業高校では、校内で開催するインターンシップ報告会に、協力いただいた企業の方を招待しています。報告会に参加した企業の方は、受入れ生徒が自社の加工装置について説明する姿や、質問に回答する姿を目にすることで、生徒の成長を感じており、人材育成に携わっているといった実感が湧いています。



<企業の方による生徒に寄り添った丁寧な指導>



<報告会では企業の方が見守る前で質応応答>

【出典】株式会社札幌ゴムウェブサイト



## 「北の専門高校 ONE-TEAMプロジェクト」の概要



## 今年度の主な取組



## 次年度以降の方向性

令和7年度  
マイスター・ハイスクール事業及び  
マイスター・ハイスクール普及促進事業  
成果発表会

# 北海道教育委員会 「北の専門高校 ONE-TEAMプロジェクト」

- 年月日：令和8年1月30日（金）
- 会場：ビジョンセンター田町

